

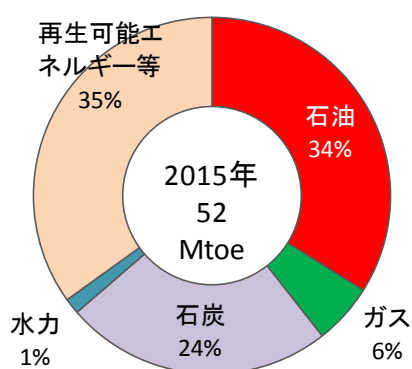
## 1-15 フィリピン

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量(2015年) : 52 百万 toe (日本の 0.12 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量(2015年) : 0.52toe (日本の 0.15 倍)
- (3) エネルギー自給率(2015年) : 50%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量(2015年) : 103.9 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 9.1%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量(2015年) : 1.00 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 11.1%)
- (6) エネルギー源別可採年数 : 原油 19.2 年 (2014 年)、天然ガス 34.0 年 (2011 年)  
石炭 57.5 年 (2015 年)

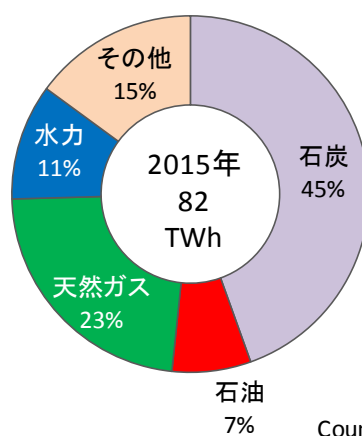
一次エネルギー供給構成 (2015 年)



Country: Philippines

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015 年)



Country: Philippines

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー省 (Department of Energy : DOE) がエネルギー政策全般を担う。長官は Mr. Alfonso G. Cusi (2017年11月現在)。

### (2) 基本政策

- DOEが2017年8月に発表した最新の「フィリピンエネルギー計画2017-2040」(Philippine Energy Plan: PEP2017-2040)では、次の8点を重要な政策目標としている。
  1. エネルギーセキュリティの確保
  2. エネルギーアクセスの改善
  3. 低炭素社会の推進
  4. エネルギー関係省庁の協力強化
  5. 部門別、技術別ロードマップとアクションプランの実施、監督および統合
  6. 省庁立法議案の採決の促進
  7. 消費者の福祉および保護の強化
  8. より強固な国際関係およびパートナーシップの醸成

### (3) 最近の動向

- 2016年11月、Duterte 大統領はエネルギーや電力、通信といった分野で規制改革を行い、新興企業の参入を促進する考えを表明した。
- 2017年4月、Cusi エネルギー相は同国の約20億ドルにのぼる天然ガス (LNG) 事業に参加するため、中国と日本の企業がフィリピン国営石油会社 (PNOC) との提携を求めていることを明らかにした。フィリピン政府は Luzon 島南部に LNG 受け入れターミナル建設を計画している。
- 2017年6月、エネルギー省は、民間投資を呼び込み、Mindanao など各地方に計14カ所、総出力1.5GWの発電所を新設すると発表。すべての発電所について建設地を特定、2021年の稼を目指す。エネルギー源は特に規定していない。

## 3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2017年1月、安倍首相はフィリピンを訪問、Duterte 大統領と首脳会談を実施。今後5年間でインフラ整備などに1兆円規模の支援を表明。また、二国間クレジット制度に関する二国間文書に署名。
- 2017年3月、METI はフィリピンの電力分野におけるアクションプランを取りまとめ、第1回日フィリピン経済協力インフラ合同委員会において、フィリピン政府に手交した。
  - ①既設発電所の改修、②再エネ導入、③配電網の整備、④LNGターミナルの導入 が提案された。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Philippines

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		52 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.52 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.20 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		50 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		103.9 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		1.00 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	24 %
	石油	34 %
	天然ガス	6 %
	原子力	0 %
	水力	1 %
	再生可能エネルギー等	35 %
(8) エネルギーの輸入依存度		50 %
(9) 石油の輸入依存度		96 %
(10) 輸入原油の中東依存度		80.9 %
(11) 原油の輸入先	第1位	サウジアラビア
	第2位	クウェート
	第3位	ロシア

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : The Philippines Department of Energy HP.

"Oil Supply/ Demand Report First Half 2017"